

「時」——二人の画家を 結ぶものと、その個性

曾宮一念と山本丘人—海山を描く、その動と静
2015.8.22[土]—9.27[日]

このたび洋画家・曾宮一念(明治26・1893年～平成6・1994年)と、日本画家・山本丘人(明治33・1900年～昭和61・1986年)の代表作約70点による展覧会を開催します。両作家とも「海山」をモチーフに描き続けました。

まず、海を描いた二人の作品です。一念の《開聞岳遠望》は、鹿児島・薩摩半島の開聞岳を遙かに望む風景です。画面右上の小さな三角形が開聞岳ですが、ここでの主役は複雑に入り組んだ海岸線です。夕日は海を輝かせ、入り江に深い影を成しています。一念は日

曾宮一念《開聞岳遠望》昭和35年(1960) 佐野美術館蔵



が沈むにつれて変化する光と影を追うように写し取りました。画面を彩る赤色は、自然の神秘の色に遭

遇した一念の強烈な感動そのものです。

丘人の《北濤》は白波立つ冬の佐渡です。丘人はすぐにはスケッチをせず、寒風の中にじっと立ち、ただ目の前を

見すえました。その時沸き起こった感情は一旦心の裡に沈め、制作の過程で徐々に形にしていきました。銀で表した波頭、金を強い墨線で刻んだ岩礁は、激しい風に泡立つ波の轟きや、荒波に耐える巖の唸りを聞いた丘人が、日本画として示した造形表現です。

つぎに、山を描いた二人の作品です。一念の《裾野の雲》は、赤い岩肌を見せる富士の裾野と空に浮かぶ大きな雲を描いています。一念は「半分にちょん切っても、どう丸めても、あんまり悪いことはない」と、雲を好んで描きました。悠久の時を刻む大地と、刻々と軽やかに形を変えていく雲の姿、時の対比を明快に描き上げています。

丘人の《流水のうた》は、自然



曾宮一念《裾野の雲》昭和35年(1960)

との対峙を続けていた丘人が、四季の変化や足元の草花に心を留めた作品です。深い山中の向こうから淀みなく流れる川面に、野ばらの花びらが散り、杜若が鮮やかに花を咲かせています。丘人は流れる水や季節のうつろいに人の一生を感じて描きました。

キャンバスに油絵の具で時をまたずに描き出した一念と、絹や紙に金銀や岩絵の具で時をかけて描き上げた丘人。ともに海山をモチーフとしながら表現方法の違いや洋画・日本画各々の特徴が見えてきます。また、自然が躍動し変化する瞬間を追いつづけた一念と、自然が見せる様々な姿に自分を重ね、その折

節の思いを表した丘人。「時」の捉え方は異なりますが、ともに自然と自己との真摯な対話から生み出された作品です。洋画と日本画の違いを明らかにしつつ、己の道を貫いた二人の画道にも迫る初の展覧会です。

(学芸グループ主任 河内えり子)

山本丘人《北濤》昭和30年(1955) 東京国立近代美術館蔵



山本丘人《流水のうた》昭和48年(1973) 東京都現代美術館蔵



ミュージアムショップ

アデリア株式会社

青森県の「ねぶた祭」の鮮やかさを表現したテーブルウェアなど。手作りの1点もので、透明感と華やかな色合いが魅力です。

ねぶたタンブラー	1,620円(税込)
ねぶた浅小鉢	1,026円(税込)
一輪挿し	2,700円～3,240円(税込)

印傳屋

漆で富士山を表現した新商品「たかね」シリーズ。

ポケット付小銭入れ	7,020円(税込)
印傳小銭入れ	1,944円(税込)
印傳印鑑入れ	1,728円(税込)

草紙堂

当館不動の人気商品。

印泥	1,944円(税込)
遊印	2,376円(税込)

天然石を使用した、一本一本手彫りの作品です。

榛原

夏の必需品! 柄から先まで一本の竹で細工しているため、丈夫で軽いうちわです。

うちわ 大満月
2,160円(税込)

中満月
1,944円(税込)
柄長小町
1,620円(税込)

プレゼントコーナー

※抽選で3名様に「P」マークの品を差し上げます(色デザインは当方で選びます)。「プレゼントコーナー応募」、ご住所、お名前、電話番号、隆泉の感想と隆泉に掲載したい一言コメントを明記の上、佐野美術館「隆泉」係まで郵便かFaxでお送りください。一言コメントのテーマは「私の人生を変えた本」です。しめきり：2015年8月15日(消印有効)・当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。・いただいた個人情報はプレゼントの発送以外に使用いたしません。